

H 2 5 年度事業報告書

公益社団法人 熊本県精神科協会

H 2 5 年度の事業を次のとおり行ったことを報告します。

1 総会・院長会・理事会の開催。

総会	1 回	H 2 5 年 5 月 3 0 日
院長会	6 回	5/30、7/18、9/20、11/21、1/23、3/26
理事会	12 回	4/25、5/30、6/25、7/18、8/22、9/20、10/24、11/21、12/19、1/23、2/20、3/26
日精協熊本県支部総会	1 回	H 2 5 年 5 月 3 0 日

2 事 業

公益目的事業

障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営む事が出来るよう支援し、障がい者の福祉の増進を図る事業として次の各事業を行った。(公1)

(1) 自主事業 「熊本県あかねの里の運営事業」

精神障がい者の社会復帰に向けた生活訓練や就労訓練等の支援を提供することにより、精神障がい者が地域で自立した生活を送ることができるよう支援することを目的としている。

ア あかね荘事業

a 短期入所事業

事業内容：

障がい者の介護を行っている人が、一時的に介護できなくなった場合に、その障がい者を施設に宿泊させ、入浴や食事等、日常生活上の支援を提供する事業。

利用対象者：

主に精神障がい者の方で、市町村から短期入所サービスの支給決定を受けた方。

利用にあたっては、利用希望者が申し込みを行い、精神科医師等で構成される受入会議で決定している。

実績： H25 年度は延べ 3 人(実数 1 人)の方が利用。

b 自立訓練（生活訓練）事業

事業内容：

施設から地域生活への移行や地域生活を送るうえで必要な生活能力の維持、向上を図る

ため、洗濯・整理整頓などの日常生活能力、金銭・服薬管理の訓練や支援等を宿泊または通所により行う。

利用対象者：

主に精神障がい者の方で市町村から自立訓練サービスの支給決定を受けた方。

利用に当たっては、利用希望者が申し込みを行い、精神科医師等で構成される受入会議で決定している。

実績： H25 年度の利用者は延べ 9,808 人（実数 70 人）、うち宿泊での利用者は延べ 12,093 人（実数 67 人）、うち退所者 19 人が地域で自立した生活を送っている。

c 一般相談支援事業

事業内容：

広く一般の方（障がい者、家族等）からの、相談に対し、専門の相談員が電話相談、面談、関係機関との連絡調整等、地域で自立して生活するために必要な支援をする事業。

利用対象者：広く一般の方（障がい者、家族等）。

実績： H25 年度は延べ 474 人の方が利用。

イ あかねワークセンター事業

a 就労継続支援（B型）事業

事業内容：

一般就労が困難な方に、就労や生産活動の機会を提供し、働く為に必要な技術や技能、習慣性の習得やコミュニケーション・体力等の向上を図りながら、目的を持って地域の中で生活ができるように支援する事業。作業は印刷作業、製菓作業、製靴作業、軽作業等を行っている。

利用対象者：

主に精神障がい者の方で通常の企業に雇用されることが困難であったり、就労に対して不安や自信がない方で市町村から就労継続支援サービスの支給決定を受けた方。

利用に当たっては、利用希望者が申し込みを行い、精神科医師等で構成される受入会議で決定している。

実績： H25 年度は延べ 5,868 人（実数 37 人）の方が利用。

b 多目的ホール開放事業

事業内容：

施設内の多目的ホールを利用してもらうことにより地域住民に障がい者福祉施設に対するの偏見や差別を防止し地域と精神障がい者や障がい福祉施設との共生を図ることで、精神障がい者の地域生活への移行をスムーズに行えるよう、多目的ホールを広く一般の人や教育機関等に低額な利用料で開放している。

利用対象者：精神障がい者、近隣の一般住民（学校、医療機関等）

実績： H25 年度は利用者数 12,085 人、36 団体が利用。

利用料：1 面 400 円/1 時間

ウ あかねホーム事業

a 共同生活援助事業（グループホーム）

事業内容：

地域において自立した日常生活を送るため、夜間や休日を含め、共同生活を営む住居において、家事、食事、相談などの日常生活上の援助を行う事業。

利用対象者：

主に精神障がい者の方で、昼間は就労移行支援や就労継続支援等の日中活動系サービスを利用し、地域において自立した日常生活を営むうえで援助が必要な方。市町村から共同生活支援サービスの支給決定を受けた方。

利用に当たっては、利用希望者が申し込みを行い、精神科医師等で構成される受入会議で決定している。

実績： H25 年度は延べ 3,418 人（実数 15 人）の方が利用し、うち退所者 4 名が地域で自立した生活を送っている。

(2) 委託事業

精神科救急情報センター事業及び精神科二次救急医療事業の委託を熊本県・熊本市から受けている。この事業は精神障がい者の精神疾患の急発または急変のため医療及び保護を必要とする者に迅速かつ適切な医療を受けさせることにより精神障がい者への支援を行うことを目的としている。（公 1）

ア 精神科救急情報センター事業

精神科救急情報センターでは、休日夜間において、緊急に精神科医療を要する精神障がい者やその家族等からの電話相談に対応し、必要な助言や医療機関紹介などを行っている。

H25 年度の利用実績は 928 件。

イ 精神科二次救急医療事業

精神科二次救急医療事業は、休日・夜間に緊急に精神科医療を要する精神障がい者の受け入れのために、精神科病院の輪番体制により実施している。

H25 年度の利用実績は 689 件、うち助言指導が 203 件、外来受診 290 件、入院 168 件、その他 28 件。

共益事業

精神科医療機関相互間の扶助、親睦、管理運営に関する支援、会員医療機関に勤務する者の教育指導、福祉厚生等を目的として以下の事業を行った。【他 1】

1 講演会

	演 題	講 師	開 催 日
1	「成人 ADHD の生物学と治療」	奈良教育大学教育学部 教授 根来 秀樹先生	H25年7月18日
2	「アルツハイマー病と前頭側頭変性病の分子病態」	大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 教授 武田 雅俊先生	H25年9月20日
3	「我々の描く精神科医療の将来ビジョン」	日本精神科病院協会 会長 山崎 學先生	H25年11月21日
4	「レビー小体型認知症の臨床」	熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野 教授 池田 学 先生	H26年1月23日
5	「現場で学ぶ、患者に学ぶ～対話と提案の臨床～」	桶狭間病院藤田こころのケアセンター 医師 趙 岳人先生	H26年3月26日
	「統合失調症治療における持続性剤の可能性」	藤田保健衛生大学医学部精神神経科学講座 教授 岩田 仲生先生	

2 共催・後援（講演会）

	演 題	講 師	開 催 日
1	「PXCR 錠の使用実感と患者さんの反応について」	上通りメンタルクリニック 院長 橋村 哲男先生	H25年6月12日 パキシルCR錠 発売 1周年記念講演 グラクソスミスクライン(株) 大日本住友製薬(株)
	「当院における復職支援プログラムの取り組み」	桜が丘病院医局長 大磯 宏昭先生	
	「うつ病治療のアドヒアランス」	産業医科大学医学部 講師 堀 輝先生	
2	「抗精神病薬による治療と身体のリスクー患者さんの健康でいきいきとした生活を目指してー」	新潟大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野 教授 染矢 俊幸 先生	H25年7月26日 第7回熊本 DSS フォーラム 大塚製薬(株)
3	「新薬で変わる認知症治療」	菜の花診療所理事 北村 ゆり先生	H25年8月1日 Dementia Summit In KUMAMOTO ヤンセンファーマ(株)

4	「インヴェガ徐放錠、 コンスタ持効性注射 剤、リスパダール内服 液の使い分けについ て」	東京慈恵会医科大学精神医 学講座 教授 宮田 久嗣 先生	H25年8月30日 抗精神病薬の最適化 を考える会 ヤンセンファーマ(株)
5	「保険薬局における Blonanserin の治療継 続率と安全性の調査」	(株)ファーマダイワ弓削薬局 河野 陽介 先生	H25年9月25日 第15回 熊本A P P 研究会 大日本住友製薬(株)
	「精神障がい者アウト リーチ推進事業につい て」	アウトリーチ推進事業委託 事業所 Stage 事業所長 横田周三先生	
6	「ストレスと生活習慣 病について」	福岡大学医学部 助教 田邊 真紀人先生	H25年10月18日 プライマリケア医の ための精神疾患セミ ナー MSD(株)
	「プライマリケア医に 知ってもらいたい精神 疾患～うつ病の治療と 連携について～」	熊本大学医学部付属病院 講師 藤瀬 昇先生	
7	「変化する精神科医療 ニーズへの対応」	西脇病院 理事長 西脇 健三郎先生	H25年11月29日 精神科医療を考える 会 日本イーライリリー
8	「児童青年精神医学と 司法」	岐阜大学医学部精神病理学 分野 准教授 高岡 建 先生	H26年2月7日 熊本児童青年懇話会、 大日本住友製薬(株)

3 研修会

(1) 看護部小委員会研修会 (第62回・第63回)

	開催日	会場	内容
1	H25年6月8日 第62回研修会	グランメッセ 熊本	講演「精神看護で活かす認知行動 療法～入院患者さんへの対応を 中心に～」 講師 立教大学現代心理学部 准教授 松永 美希先生
2	H26年2月21日 第63回研修会	県立劇場	講演「精神科における感染管理」 講師 佐伯保養院 副院長 山内勇人先生
3	「准看護師のためのステッ プアップ研修会」	宇土市民会館 大会議室	日精看と九精協の共同研修会 H26年1月30日・31日

4	「看護補助者のための研究会」	宇土市民会館 大会議室	日精看と九精協の共同研修会 H26年2月28日
---	----------------	----------------	----------------------------

(2) 栄養部小委員会研修会

	開催日	会場	内容
1	H25年6月14日	浦島海苔株式会社	講義1「海洋食品海苔についての話題提供」講師：浦島海苔株式会社 平川 諭氏 講義2「災害時における自衛隊活動について」
2	H26年2月14日	熊本市男女共同参画センター	講義「ごはんて病気を治す」 講師：EBM 総合医学センター 院長 許 鳳沫先生

(3) コ・メディカル部小委員会研修会（第45回・第46回）

	開催日	会場	内容
1	H25年6月28日 第45回	熊本テルサ	総会（報告・計画） 講演「精神障がい者の地域移行について」 講師：熊精協会長 弓削病院院長 相澤明憲先生
2	H25年11月20日 第46回	熊本テルサ	講演：「医療観察制度の現状と課題」 講師：熊本保護観察所社会復帰調整官 松本 高成氏

(4) 薬剤師部小委員会研修会

	開催日	会場	内容
1	H25年9月7日 第23回	国際交流会館	講演「精神科病院における輸液の使用法」～経静脈栄養法・経腸栄養法・脱水対策～ 講師：(株)大塚製薬工場 川内 美也子氏
2	H26年3月15日 第24回	富田薬品(株) 熊本本社	講演「精神科と脳神経外科の病病連携について」 講師：菊池中央病院 副院長 曾山 直宏先生

(5) 事務長会研修会

	開催日	会場	内容
1	H25年9月13日	熊本ホテルキャッスル	研修会：「厚生行政の動向とこれからの病院経営」 講師：広島国際大学医療経営学部 教授 白髪 昌世先生
2	H26年2月18日	熊本全日空ホテルニュースカイ	講演「保険診療の正しい理解による返戻及び査定減への事前対応と必要医業収益確保に向けた施設基準届出内容の再認識と請求漏れ防止対策」 講師：(株)ヘルスケア経営研究所 酒井 麻由美 氏

4 機関紙「熊精協会誌」の発刊

年4回発刊（1回発行部数350部）

5 精神障がい者リハビリ事業

(1) 「第11回くませいフェスタ」の開催

- ・期 日 H25年6月6日（木）
- ・開 場 パークドーム熊本 熊本市中央区平山町 2792
- ・参加者 1454人（参加43病院）
- ・成 績

- 1位 黄ブロック（県南地域8病院）
- 2位 赤ブロック（宇城天草地域10病院）
- 3位 緑ブロック（熊本市南地域8病院）
- 4位 白ブロック（熊本市北地域9病院）
- 5位 青ブロック（県北地域8病院）

(2) 作品展示

- ・「第51回熊本県精神保健福祉大会」における作品展示
期日 H25年10月18日（金）
会場 やつしろハーモニーホール
- ・「第21回精神障がい者作品展示（心の健康フェスタ）」における作品展示
期日 H25年11月10日（日）
会場 熊本交通センターイベント広場

6 熊本県・熊本市からの委託事業（他2）

- (1) 精神障がい者搬送業務委託業務
措置入院に係る6件の搬送を行った。

(2) 精神障がい者地域移行支援事業

ア 高齢入院患者地域支援事業

熊本県関係 参加病院 7病院

熊本市関係 参加病院 7病院

イ 地域体制整備コーディネーター配置事業

熊本県関係 2名配置

熊本市関係 3名配置

その他

1 以下関連団体への支援を行った。

(1) 熊本県精神科病院協同組合

「あかねクリーン」に対する営業協力等

(2) 熊本県精神保健福祉協会の事業

・熊本県精神保健福祉大会開催への協力支援

・くまもと自殺予防医療サポートネットワーク事業

(3) 熊本県精神保健福祉センターの事業

精神保健福祉センター主催の研修会等への協力支援

(4) 熊本大学医学部神経精神科への協力支援

(5) 熊本県精神科医療連絡協議会の開催

熊本県の精神医療の在り方等について、県や熊本市並びに関係医療機関と意見交換を行った。

開催期日 H25年7月10日 (くませいビル)

2 共催・後援

・H25年度うつ病に対する医療連携のための研修会

一般かかりつけ医と精神科医との医療連携体制強化のための研修会を県と共催で開催した。

開催圏域 (阿蘇、人吉、有明、山鹿、水俣、天草、御船、宇城、八代、菊池)

3 各関係機関との連携

関係機関等の要請に応じ、委員会議・連絡会議等に出席し意見交換・情報交換
実地審査等に赴き、連携強化を行った。

(審査会等への出席)

熊本県・熊本市精神医療審査会

熊本県医療審議会

国民年金障がい認定審査会

(会議等への出席)

熊本市児童虐待防止連絡会議

熊本県DV対策関係機関会議

熊本県地域リハビリテーション支援センター運営委員会・協議会

熊本県地域医療観察制度運営連絡協議会

熊本県認知症疾患医療連携協議会

熊本県・熊本市要保護児童対策地域協議会

熊本 DCAT の派遣要請等に関する連絡会

熊本市地域精神保健福祉協議会

健康くまもと 21 推進会議

熊本県・熊本市自殺対策連絡協議会

(研修等への協力)

熊本県介護支援専門員更新研修の講師派遣

うつ病に対する医療連携のための研修会

(医師等の推薦)

こころの健康相談事業

精神科医療と難病相談・支援センター連携事業

熊本産業保健こころの健康アドバイザー事業

心神喪失者等医療観察法に基づく精神保健判定医及び精神保健参与員

熊本市民健康フェスティバル

(その他)

医学部卒後研修の共通プログラム研修

くまもと自殺予防医療サポートネットワーク事業

4 九精協・日精協及び関連機関の事業

(1) 九精協

理事会 (H25 年 4 月 19 日・H25 年 9 月 27 日)

定期総会 (H25 年 11 月 7 日)

九精協各県理事合同研修会 (90 回 : H25 年 4 月 19 日沖縄)

(91 回 : H25 年 9 月 27 日福岡)

第 17 回九精協各県事務局担当者連絡会議 (H25 年 7 月 19 日大分)

第 10 回九精協看護部長等代表者会議 (H25 年 6 月 7 日宮崎)

第 59 回九州精神医療学会・第 66 回九州精神神経学会

(H25 年 11 月 7 日・8 日鹿児島)

准看護師の為のステップアップ研修・看護補助者の為の研修

(H26 年 1 月 30 日・31 日、2 月 28 日熊本県)

(2) 日精協

社員総会・理事会・各委員会等に出席し、積極的に情報の収集と伝達、あるいは支部の意見を取り纏めて具申し、精神科医療と福祉の向上に努めた。

ア 出席会議等

・ 社員総会

年間 2 回

・ 支部長会

年間 1 回

・ 理事会	年間 6 回
・ 医療問題委員会	年間 12 回
・ 看護・コメディカル部会	年間 12 回
・ 認定看護師分科会	年間 2 回
・ 地域移行推進委員会	年間 11 回
・ 通信教育分科会	年間 3 回
・ 認知症臨床専門医分科会	年間 2 回
・ 保険診療・指導監査に対する専門チーム	年間 2 回

イ H25 年度熊本県精神科医療連絡協議会に参加。(25/7/10)

ウ 第 2 回日本精神科医学会学術大会(旧日精協精神医学会)(埼玉県)に参加。
(25/11/14・15)

エ 支部会員病院の永年勤続職員への表彰

実施日 H25 年 11 月 21 日

場 所 ホテルニューオータニ熊本

対象者 23 名

内訳 平成病院 2 名、八代病院 1 名、有働病院 3 名、中山記念病院 1 名、菊池有働病院 1 名、森病院 1 名、益城病院 1 名、吉田病院 3 名、くまもと青明病院 3 名、城ヶ崎病院 3 名、みずほ病院 1 名、八代更生病院 1 名、荒尾こころの郷病院 2 名

オ 九州精神科病院協会学術講演会(福岡)への参加。(25/7/26)

5 会員の新規・退会

比良こころのクリニック 26 年 3 月末退会 (閉院の為)